

タイの土産で支援

がんばるゾウ

世界から
エール

タイの新土産、ぬいぐるみの「がんばるゾウ」が好評を博している。日本人観光客に人気があるコットン製品ブティック「ナラヤ」が発売したばかりのチャリ



「がんばるゾウ」を手にするワサナ社長

ティール商品で、利益は全額、東日本大震災の被災地に義援金として寄付される。

タイで愛されているゾウをもじったネーミングは日本人女性社員のアイデアだ。

語呂合わせの意味を聞いた同社のワサナ社長は「すぐに気に入り、その名前に

しよう」と決めた」という。同社長は「タイも2004年のインド洋大津波で被害があった。日本とタイが『がんばるぞ』と手を取り合えば、日本はよりたくましく住みやすい国に生まれ変わらると思う」と話す。

「がんばるゾウ」のデザインは8種類で1個200円(約535円)。2万個を用意し、7月末までバンコクの各店で販売する。

ここ数年、来店する外国人客は日本人を抜いて中国人が最も多い。店員は「がんばるゾウ」の由来を中国語でも説明しており、共感した中国人客が最も多く買っていくという。(バンコク 深沢淳一、写真も)